

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	2022年 11月 1日
住 所 (法人にあっては, 主たる事務所 の所在地) 京都市右京区西院寿町 40 番地 3	氏名 (法人にあっては, 名称及び代表名) 株式会社マツシマホールディングス 代表取締役社長 松島 一晃 電話 075-313-6121

京都市地球温暖化対策条例 ☐ 第 4 9 条第 1 項 ☒ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。					
工 事 の 種 別		☒ 新築 ☐ 増築			
工事着工予定年月日		2021年 11月 1日			
工事完了予定年月日		2022年 10月 4日			
建築物 の概要	名 称	(株) マツシマホールディングス本社 P J			
	所 在 地	京都市右京区西院寿町40番1、40番3、42番1、西院南高田町10番、10番1、10番2、11番、12番2、12番3、12番4、12番5、西院西高田町3番、1番1			
	構 造	鉄骨	階 数	地 上 5 階 地 下 階	
	敷 地 面 積	6,469.75㎡	高 さ	23.00メートル	
	建 築 面 積	721.31㎡	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	2,834.69 (平方メートル)	
	用途別の床 面積	住 宅	平方メートル		
		ホ テ ル 等			
		病 院 等			
		物品販売業を営む 店舗等	500.55㎡		
		事 務 所 等	2151.83㎡		
		学 校 等			
		飲 食 店 等			
		集 会 所 等			
	工 場 等	182.31			
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		B- BEE値0.9			
設計者の住所及び氏名の公表について		☒ 公表可 ☐ 公表不可			

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
■ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外皮には断熱性能の高い材料或るいは断熱材を使用し、空調負荷を低減した。
■ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	窓には複合ガラスを用い、大型開口部には庇を設置し日射を抑制した。
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明、節水型衛生器具を使用した。
■ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備を導入
□ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	
■ 地 域 産 木 材 の 利 用	フローリング下地に府内産木材を使用した。
■ 節 水 型 設 備 の 設 置	衛生器具は全数節水型とした。
□ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
□ 耐 用 年 数 が 長 い 材 料 及 び 設 備 の 利 用	
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	防水は保護防水とし、設備機器の維持管理を容易にした。
□ 緑 化 の 実 施	
■ 電 気 自 動 車 等 の 充 電 設 備 の 設 置	1 台設置した。
□ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
■ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	吹付断熱はノンフロン工法とした。
□ そ の 他	

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)